

# 高砂みなとまちづくり行動計画とは

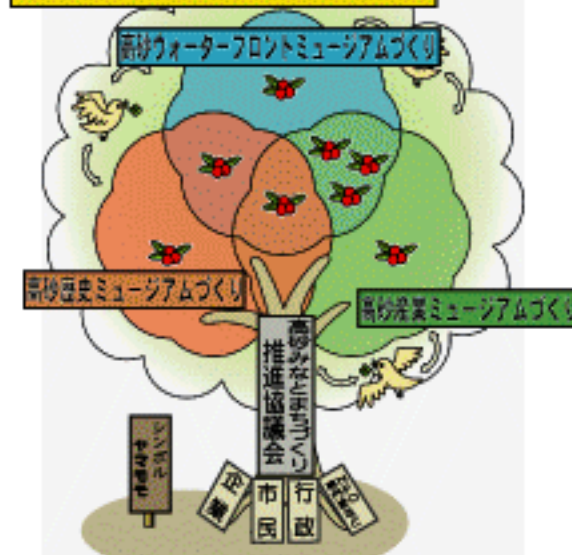
高砂みなとまちづくり構想を具体化するため、市民、企業、関係団体、専門家、行政などが一体となって取り組むためのプログラムとして、高砂みなとまちづくり構想推進協議会からの提言として取りまとめられました。

※ 高砂みなとまちづくり行動計画は、高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページからダウンロード (PDF ファイル) できます。

高砂みなとまちづくり 検索

入力して「検索」をクリック!

## ～輝く高砂みなとまちミュージアム～



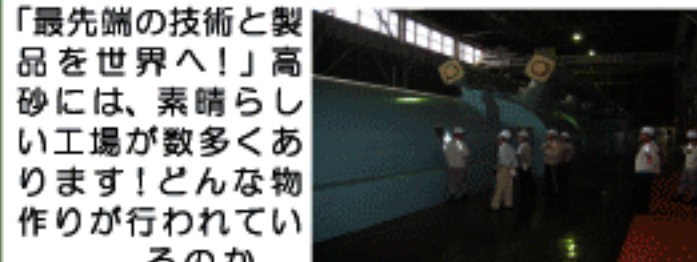
ヤマモモは潮風に強い常緑の高木で、生命力みなぎるその様と真っ赤な果実は高砂市の活力向上のイメージにつながるので、高砂みなとまちづくり構想のシンボルとして位置付けました。

まちづくりの取り組みが行われています。ご協力ください！



荒井ふるさと再発見し隊の勉強会

「自分達の住んでいる所を知り、もっと好きになろう」と有志が集まって熱心に議論を交わしています。地域の歴史や宝物を求め日々奮闘しています!



高砂の産業を知ろう! 工場見学会の様子

「最先端の技術と製品を世界へ!」高砂には、素晴らしい工場が数多くあります! どんな物作りが行われているのか、見学してきました!



高砂海浜公園の海岸清掃活動

「白砂松青! 美しく懐かしい風景を取戻し、次世代につなげていこう」と海岸では清掃活動を行っています!

こんな活動しています!



高砂町の古民家を利用した「来て民家」を見学

古民家を改修し、県民交流広場事業の拠点施設として各種団体の活動の場となっている「高砂来て民家」を見学し、高砂の歴史を再発見しました!

## 曾根塩田跡地にメガソーラー!!

メガソーラー (大規模太陽光発電施設) による再生可能エネルギーの普及と、市有地である曾根町の不燃物処理場跡地 (約 5.6ha) の有効活用を図ることを目的として、一般競争入札が実施されました。そして、SBエナジー(株)と賃貸借契約が締結され、造成工事とパネル設置工事等が進められてきました。



このたび、すべての工事が完成し、試運転も終了しました。そして、2月17日から、今後20年にわたって年間予想発電量 335万kWh (一般家庭約930世帯分) の出力規模が見込まれるメガソーラー発電所として、「ソフトバンク高砂ソーラーパーク」が運転を開始しています。



高砂市のシンボル樹と焼

第7号 平成26年3月

# みなとまちづくり瓦版

<http://www.geocities.jp/takasago3710machikyo/index.html>

「3710」は「みなと」と読めるね!

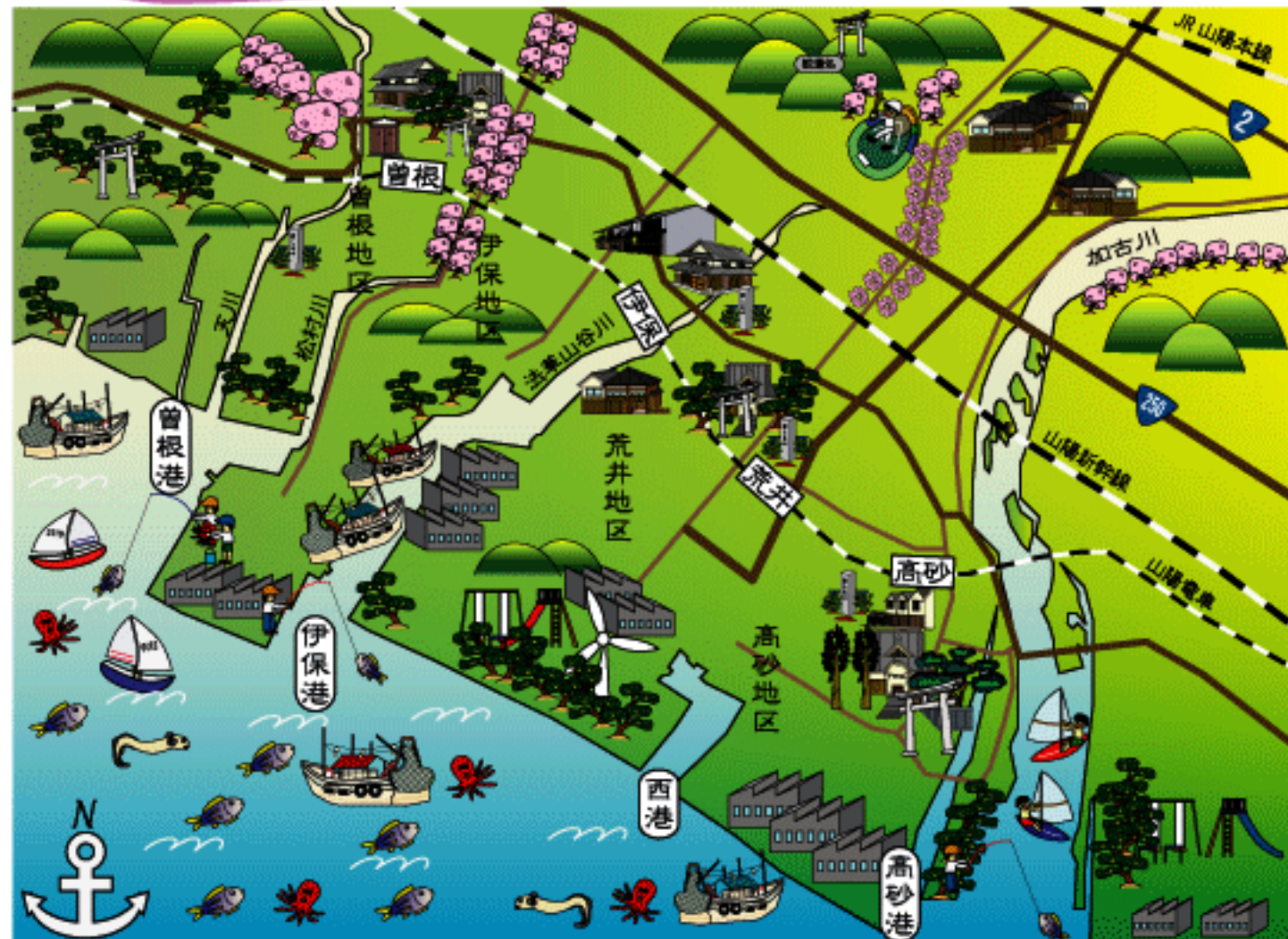
## みなとまちづくり瓦版ってなに?

高砂市の臨海部がもっと元気になるために、住民と企業と行政が一緒になって「高砂みなとまちづくり構想」をつくり、様々な取り組みを行っています。

「みなとまちづくり瓦版」は、これらの高砂みなとまちづくり構想の取り組み状況をお知らせするとともに、高砂市臨海部の魅力をもっと知ってもらいたいと「高砂みなとまちづくり構想推進協議会」の有志が集まって作成したものです。

平成20年1月に創刊号を発行し、この度、第7号が完成しました。

是非ともご愛読いただき、高砂市臨海部の魅力を再発見し、一緒に「まちづくり」について考えていきましょう。







# 魅力探訪

## 「あらい浜風公園にホタルを！」「ビオ浜っこ」 ウォーターフロントミュージアム部会

平成 18 年 (2006) 11 月にあらい浜風公園がオープンしました。そのとき、岡前市長が「せせらぎ水路にホタルが舞うようにできないか」と提案をしました。このことがきっかけとなり、ホタルの再生に尽力して下さる方を広報たかさごで募集し、現在 16 人で活動する「ビオ浜っこ」が結成されました。

昔から高砂市内にはゲンジボタルは生息していなかったこと、遺伝子のかく乱を防ぐことを目的に、地元高砂のヘイケボタルにこだわって、ホタルを再生し、せせらぎ水路でホタルが自生することを目指して頑張っています。当初は、市内に細々と生息しているヘイケボタル十数匹を採取し、飼育方法を勉強しながら(失敗も経験しながら)会員の自宅で幼虫の数を増やしました。

5 月下旬のホタルが羽化する時期には、公園の閉門時間を繰り下げ、ホタルが優雅に舞う姿を見に来られる方々に楽しんでもらっています。

また、11 月上旬には、子供たちを対象にせせらぎ水路で自然観察会を開催し、実際に網を持って水路に入り、生息する水生昆虫や魚を採取し、生き物の名前や生態、水路の環境について学習し、最後にビオ浜っこが育てたホタルの幼虫を水路に放流してもらい取り組みを行っています。興味のある方は一緒に活動してみませんか。



ヘイケボタル (5月)



自然観察会 (11月)

## 古くて新しい会社「カネカ」 産業ミュージアム部会

カネカ高砂工業所は、明治 34 年 (1901) 操業の三菱製紙に次いで二番目となる明治 39 年 (1906) に、鐘淵紡績 (鐘紡) の高砂支店としてこの地に誕生しました。その後、昭和 24 年 (1946) に鐘紡から非繊維部門を分離した鐘淵化学工業が設立されました。平成 16 年 (2004) には、社名を (株) カネカに変更し、現在に至っています。

現在の生産品目は、苛性ソーダや合成樹脂をはじめ、高機能性樹脂、アクリル系合成繊維、マーガリンやイースト (パン酵母) などの食品関係、医薬品中間原料や健康食品素材など多岐に亘っています。

中でも、アクリル系合成繊維は、難燃性や人毛・獣毛に似た触感という特性から、寝具やカーテン・衣類向けをはじめ、アフリカ市場向けには、付け毛やかつら用として、世界シェアトップを誇っています。

また、体内への吸収性に優れた特性をもつ還元型コエンザイム Q10 は、カネカが世界で唯一製品化したものです。

過去には、昭和 30 年 (1955) に都市対抗野球で準優勝、昭和 50 年 (1975) に社会人野球日本選手権で優勝を果たしています。

昭和 33 年には、皇太子殿下 (現天皇陛下) がご視察されました。

その他、夏祭りを開催し地域との交流を図るとともに、園児を招待した芋苗植えと収穫など地域に根差した活動を行っています。高砂にこのような歴史、技術などを持った会社があることをご存知でしたか。

ほんと、高砂市ってすごい！！

皇太子殿下工場ご視察 (昭和33年)



出汐館 (いでしおかん: カネカの厚生施設)

## 高砂行っどこ案内

### 美濃部親子文庫を知っていますか「美濃部研究会」 歴史ミュージアム部会

美濃部達吉 [憲法学者] を顕彰するため、「美濃部親子文庫の調査研究を行い、その成果を発表し、広く高砂の文化の発展に寄与する」ことを目的として、平成 8 年 (1996) に美濃部研究会 (会長: 宮先一勝氏) が発足しました。現在、会員は 25 人。高砂公民館を活動の拠点として、月 1 回勉強会、また視察研修、講演会を開催するなどの活動を行っています。

「美濃部親子文庫」は、天皇機関説で有名な憲法学者の美濃部達吉博士と、その御子息で経済学者で東京都知事を務めた美濃部亮吉博士の遺族から寄贈された貴重な著書、資料などを集めた文庫で、高砂公民館の図書館に保存され、一般公開されています。昭和 33 年 (1958) 高砂町立図書館

に開設された「美濃部文庫」がスタートで、図書館の移設などを経て、昭和 60 年 (1985) に「美濃部親子文庫」に改められ、現在に至っています。興味のある方は美濃部研究会と一緒に活動してみませんか。

#### 《主な活動状況》

- 平成 20 年 2 月 親子文庫の虫干し講習会
- 平成 20 年 5 月 達吉博士没後 60 年フォーラム
- 平成 24 年 1 月 父祖墓碑再建記念の「憲法講演会」
- 平成 26 年 3 月 生誕 140 年記念講演会



美濃部親子文庫 (高砂公民館)

美濃部達吉生家跡 (高砂町村木町)

### 編集よもやま話



合子形 (ごうすなりかると) 黒田官兵衛が揃っていた、お袴をさかさまにした形のかわりのことです。

みなとまちづくり瓦版を発行するのも今回で 7 回目となりました。ご理解、ご協力ありがとうございます。さて、現在、NHKで「軍師官兵衛」が放映されていますが、高砂も少なからず関わりがあることをご存じですか？

この瓦版が発行される頃には、どのような脚本・展開になっているかわかりませんが、興味を持って観ていただきたいと思います。

編集: みなとまちづくり瓦版づくり隊  
発行: 高砂みなとまちづくり構想推進協議会  
【記事等に関する問い合わせ先】  
高砂市まちづくり部まちづくり推進室都市政策課

〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号  
TEL 079-442-2101 (代表)  
FAX 079-443-9091  
開庁時間 8:30~17:15